

## 非結球レタス

農薬取締法上、「レタス」と「非結球レタス」は別の作物である。

「非結球レタス」には、「非結球レタス」「レタス類」「葉菜類」「野菜類」に適用のある農薬を使用すること。

「非結球レタス」には、かきちしゃ、サラダ菜、リーフレタス等が含まれる。

——— 発病・加害時期  
 === 発病・加害最盛期

作型・病害虫名	月												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
初冬まき		▲	トンネル被覆	■	○							○	●
早春まき		●	▲	■	○								○
晩夏まき								●	▲	■			○
灰色かび病			===	===	===				===	===	===		
軟腐病			===	===	===				===	===	===		
アブラムシ類			===	===	===				===	===	===		
ネキリムシ類				===	===				===	===	===		
ヨトウムシ				===	===				===	===	===		
ハスモンヨトウ				===	===				===	===	===		

## 灰色かび病

### 留意事項

- 1 アミスター20フロアブルは、薬害のおそれがあるため、浸透性を高める展着剤を加用しない。
- 2 薬剤耐性菌が出現しやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。
- 3 QoI剤<< 1 1 >>、SDHI剤<< 7 >>は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

### 防除方法

- 1 排水を良好にし、ポリフィルムなどでマルチングを行う。
- 2 被害株は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。
- 3 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [トップジンM水和剤](#) < 1 > 【1500～2000倍 21日/2回】
  - ・ [アミスター20フロアブル](#) << 1 1 >> 【2000倍 7日/4回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

- ・ [ケンジャフロアブル](#) << 7 >> 【1500倍 前日/3回】

## 菌核病

### 留意事項

- 1 土壤中に黒いネズミのフンのような菌核が残り伝染源となる。
- 2 アミスター20フロアブルは、薬害のおそれがあるため、浸透性を高める展着剤を加用しない。
- 3 QoI剤<< 1 1 >>、SDHI剤<< 7 >>は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

### 防除方法

- 1 田畑輪換を図る。
- 2 排水を良好にし、ポリフィルムなどでマルチングする。
- 3 連作を避ける。
- 4 被害株は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。
- 5 収穫残さをほ場外に持ち出し処分する。
- 6 定植前に、たん水処理を行う。
- 7 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [トップジンM水和剤](#) < 1 > 【1500～2000倍 21日/2回】
  - ・ [アミスター20フロアブル](#) << 1 1 >> 【2000倍 7日/4回】
  - ・ [ポリオキシシンAL水溶剤](#) < 1 9 > 【2500倍 14日/3回】
  - ・ [スクレアフロアブル](#) << 1 1 >> 【2000倍 前日/3回】
  - ・ [ケンジャフロアブル](#) << 7 >> 【1500倍 前日/3回】

## 軟腐病

### 留意事項

- 1 高温多湿時に多発する。
- 2 キノンドーフロアブルは、水産動植物に強い影響を与える恐れがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用する。

### 防除方法

- 1 連作を避ける。
- 2 排水を良好にし、ポリフィルムなどでマルチングを行う。
- 3 被害株を早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。
- 4 発生が見込まれる時期に、下記の薬剤を予防的に散布する。
  - ・ [キノンドーフロアブル](#) < M 1 > 【800～1000倍 30日/5回】
  - ・ [マスタピース水和剤](#) <- (生) > 【1000～2000倍 前日/-】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合がありますので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合がありますので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

- 5 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
- ・ [バリダシン液剤5](#) <U 1 8> 【800倍 3日/3回】
  - ・ [スターナ水和剤](#) <3 1> 【2000倍 14日/2回】

## アブラムシ類

### 防除方法

- 1 寒冷しゃで苗を被覆し、侵入を防ぐ。
- 2 シルバーポリフィルムでマルチングを行う。
- 3 下記の薬剤を、セル成型育苗トレイ（培土）に処理する。
  - ・ [アベイル粒剤](#) <2 8> <4 A>
 

【セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊  
（約30×60cm、使用土壌約1.5～4L）当たり40g 株元散布  
育苗期後半～定植当日/1回】
- 4 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [スタークル顆粒水溶剤](#)、[アルバリン顆粒水溶剤](#) <4 A>
 

【2000～3000倍 3日/2回】
  - ・ [コルト顆粒水和剤](#) <9 B> 【3000～4000倍 7日/3回】
  - ・ [トランスフォームフロアブル](#) <4 C> 【2000倍 前日/3回】
  - ・ [ウララDF](#) <2 9> 【2000倍 前日/2回】

## ネキリムシ類

### 防除方法

- 1 下記の薬剤を施用する。
  - ・ [ダイアジノン粒剤5](#) <1 B>
 

【6kg/10a 全面土壌混和又は作条土壌混和 は種時又は定植時/2回】
  - ・ [フォース粒剤 劇](#) <3 A> 【9kg/10a 全面土壌混和 定植前/1回】
  - ・ [アクセルペイト](#) <2 2 B> 【3～6kg/10a 株元散布 前日/2回】

## ヨトウムシ

### 防除方法

- 1 下記の薬剤を、セル成型育苗トレイ（培土）に処理する。
  - ・ [アベイル粒剤](#) <2 8> <4 A>
 

【セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊  
（約30×60cm、使用土壌約1.5～4L）当たり40g 株元散布  
育苗期後半～定植当日/1回】
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

- ・ [グレースシア乳剤](#) <30> 【2000～3000倍 3日／2回】
- ・ [ヨーバルフロアブル](#) <28> 【2500～5000倍 前日／3回】
- ・ [スピノエース顆粒水和剤](#) <5> 【5000倍 7日／2回】
- ・ [トルネードエースDF](#) <22A> 【2000倍 7日／2回】
- ・ **BT剤** <11A> (IX野菜類の病害虫防除 3野菜類 参照)

## ハスモンヨトウ

### 留意事項

- 1 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。

### 防除方法

- 1 下記の薬剤を、セル成型育苗トレイ（培土）に処理する。
  - ・ [ベリマークSC](#) <28>  
【400倍 かん注（セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊  
（約30×60cm、使用土壌約1.5～4L）当たり0.5L） 育苗期後半～定植当日／1回】
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [アフーム乳剤](#) <6> 【1000～2000倍 3日／3回】
  - ・ [ヨーバルフロアブル](#) <28> 【2500～5000倍 前日／3回】
  - ・ [ディアナSC](#) <5> 【2500～5000倍 前日／2回】
  - ・ [アクセルフロアブル](#) <22B> 【1000～2000倍 前日／2回】
  - ・ **BT剤** <11A> (IX野菜類の病害虫防除 3野菜類 参照)

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。